



芝山小だより



10月号
清瀬市立芝山小学校

校長 榎並 みな子

「食べることは生きること」

校長 榎並 みな子

「食べることは生きること」という言葉は、調べてみますと、料理研究家としてよく知られている鈴木登紀子さんや土井善晴さんの言葉であったり、映画タイトルとなっていたりすることもお存知かと思います。生きるためだけに食べるという行為があるのではなく、「食べることは、心と体を育てること、豊かさや喜び、人間関係を築くことに深く関わっている」と言われています。

さて、今年度芝山小では「食育」について研究を進めています。「主体的に学習に取り組む児童の育成～体験的な学習の取組を通して～」を研究主題とし、各学年に応じた教科等において、授業を行っています。また、子供たちが食に対して興味をもち、栄養のバランスについて考えたり、感謝の気持ちをもったりすることができるよう様々な活動を行っています。

<1年生 トウモロコシの皮むき>



1年生は、トウモロコシの皮むきをしました。

担任2人と栄養教諭が絵本「やさいのがっこう トウモロコシちゃんのながいかみ」の読み聞かせをし、トウモロコシのクイズをしたあとで、トウモロコシの皮むきに取り組みました。子供たちの感想には、「ひげには色があることやつながっていることを知らなかった。」「皮むきが楽しかった。(トウモロコシを) 育ててくれてありがとうございました。」など、活動の楽しさを味わい、生産者への感謝の気持ちを表していました。

<2年生 ぐんぐんそだて わたしのやさい>

2年生は、植木鉢では、ミニトマトを育て、学級園（畑）では、なす、きゅうり、トマト、小玉すいかを育てました。畑に苗を植え、成長を楽しみにしながら水やりや雑草取りをしました。収穫できたときの子供たちの嬉しそうな顔は、きらきらしていました。

2年生が育てた野菜は、7月17日、1学期最後の給食の材料として使われ、芝小みんなで味わうことができました。

<保健給食委員会 完食の木 お昼の放送>

月に一度、学年の「完食チャレンジデー」が設定されています。完食をすると木にシールを貼り、10枚になると花が1つ咲きます。保健給食委員会でポスターを作成し、声掛けをしています。また、お昼の放送では、月の給食目標に合わせた話をします。9月は、『早寝早起き朝ごはん』で生活リズムを整えて、1日を元気にスタートしましょう」と呼びかけていました。さて10月は、どんなお話を聞くことができるでしょうか。

